

工業建設 宮坂

バケツリレー真剣 防災訓練に地域住民ら1200人

宮坂建設工業(帯広市、宮坂寿文社長)は3日、本社や中央公園などで今年度の防災訓練を開いた。
同社は1993年に防災訓

練を始め、十勝沖地震を契機に2003年から住民の参加も受け入れている。北海道各地で震度5の地震が発生したと想定、本社のほか札幌支



バケツリレーを体験する
帯広北栄小の子供たち

社、地元町内会、帯広工業高校などから約1200人が参加した。帯広北栄小4年の児童60人はバケツリレーによる消火活動を体験した。

同社の高道伸常務は「協力会社と24時間の防災体制を敷いている。訓練は地域住民への啓蒙(けいもう)も目的」と話していた。地震体験車に乗った市内の男性(80)は「あれほど強烈な揺れとは思わなかった」と感想を述べていた。

(安田義教)

店、北見市の工事現場でも連絡体制などを確認した。中央公園では午前11時から、専用車両を使った地震体験、土の積みなどの水防訓練、煙体験、救急救命活動の実演などを行った。建設会